

「日本農業遺産」の農村の輝きを、映像美と共に伝える
ドキュメンタリー映画

2018
11.18
(日)

横須賀
上映会

武蔵野

～江戸の循環農業が息づく～

監督：原村政樹 | 音楽：鈴木光男 | 語り：小林綾子 |
上演時間：111分

森を育み
森に生かされ
森と歩む

どんなに時代が変わっても、変えてはならないことがある



映画「武蔵野」製作委員会 <http://www.cinema-musashino.com/>

第26回有料上映会・東日本大震災復興支援等チャリティ上映会 No.9

ドキュメンタリー映画「武蔵野」と原村政樹監督のお話

2018年 11月18日(日) 13:30～
(開場 13:00)

横須賀市文化会館 大ホール

横須賀市深田台 50 ☎046-823-2950

京急 横須賀中央駅 下車 徒歩 10分

チケット料金 1,000円 (前売り券 800円)

チケット料金の内 150円を募金し、東日本大震災復興支援活動に役立てます。

チケット販売：品川文化堂 (大滝町) ☎046-823-1848
井出新聞店 (衣笠栄町) ☎046-851-0235
アナザワフォト (追浜駅前) ☎046-865-9963

郵便振替：口座番号 00230-4-09440 口座名称 16ミリ試写室

主催：16ミリ試写室 <http://y16miri.com>

共催：横須賀市教育委員会

後援：横須賀市、(公財)横須賀市生涯学習財団、
(福)横須賀市社会福祉協議会

問合せ：☎090-2901-0862 (松澤)

四季の美しさ、江戸の循環農業の妙、林を支える人々、農家の思い、家族の笑顔——

ドキュメンタリー映画

武蔵野

～江戸の循環農業が息づく～

上演時間:111分

埼玉県南西部に日本最大の平地林がある。大都市近郊にこれほど広大な平地林が残されている場所は世界中でも他にはない。ここは360年程前の江戸時代、農家が木を植え、先祖代々手入れを続け、落ち葉を集めて堆肥を作り、毎年畑に施して、やせた原野を肥沃な大地に生まれ変わらせた江戸の開拓村。世界中の土を調査した土壌学者も目を見張る優れた畑の土で、森にはたくさんの生物が生息し、四季折々、美しい景観が人々を和ませる。

しかし首都圏に近い、開発の波が押し寄せ、徐々に姿を消しつつある。そんな中、貴重な平地林を未来につなげたいと、市民が農家の応援に駆け付ける。工芸作家たちも間伐材で家具や日用雑貨を製作して森の価値を発信している。

毎年変わることなく繰り返されてきた森の恵みを活かす伝統の循環農法こそ持続可能な農業だと、若い後継者たちも積極的に取り組む。その価値が認められ、大都市圏で唯一、日本農業遺産に認定された。



映画『武蔵野』を推薦します！

村上 龍 ●作家

澤地久枝 ●ノンフィクション作家

池内 了 ●名古屋大学名誉教授／宇宙物理学

熊沢喜久雄 ●東京大学名誉教授／植物栄養学・肥料学

樋口健二 ●フォトジャーナリスト

宇根 豊 ●百姓・農と自然の研究所代表

高橋卓也 ●山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局長



監督 ■ 原村政樹

1957年3月生まれ。埼玉県立松山高校卒。上智大学卒業後フリーの助監督として映像の仕事始める。1988年桜映画社入社。以後、映画・TV番組を監督製作。2004年「海女のリャンさん」で長編記録映画の製作を開始。2006年「いのち耕す人々」。2008年「里山つ子たち」。2009年「里山の学校」。2013年「天に栄える村」。2013年、NHK新日本風土記「川越」製作。2015年にフリーとなって製作に取り組んだ「無音の叫び声」の映画&書籍は、「2016年第31回農業ジャーナリスト賞」W受賞。約40年前から川越市在住。



この地域(埼玉県川越市・所沢市・狭山市・ふじみ野市・三芳町)の農家は雑木林(平地林)をヤマと呼び、「人間はヤマに生かされている」と言う。「人間も自然の一部である」。「先祖が残してくれた大切なものは変えてはならない」とも。変化が激しい現代にあって、変わらないことの大切さを教えてくれる。映画では、この地の伝統農法の神髄に迫り、効率重視の工業的価値とは対極にある「農」の深い精神文化を描いている。

映画「武蔵野」製作委員会 会長・大野松茂 <http://www.cinema-musashino.com/>

事務局：〒350-1133 川越市砂 846-3 鈴木方 Fax.049-242-4811 E-mail: suzutoshi0620@nifty.com

後援：川越市・所沢市・狭山市・ふじみ野市・三芳町・武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会

「16ミリ試写室」

16ミリ試写室は1977年発足。「どこでも素敵な映画館」を合言葉に県や市の図書館の視聴覚ライブラリー所有の16ミリフィルムや映写機を活用して活動する女性NPO団体です。年間約100回の映画会を図書館、コミセンなどの社会教育施設、保育園、老人ホームなどの社会福祉施設や地域の集会室で開催しています。さらに、「ここに響くメッセージを廉価で届ける」を目的に有料上映会も開催しており、原村政樹監督の作品「無音の叫び声」を2016年に上映しました。